

日時：平成 26 年 6 月 9 日(月)14：30～

場所：美瑛町 四季の情報館

平成 26 年度

大雪山国立公園 表大雪地域

登山道関係者による情報交換会

次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 情報交換
 - ・ 各団体からの報告・意見交換
 - ・ 大雪山登山道管理水準に関する意見交換
4. その他
5. 閉会

平成26年6月9日

大雪山国立公園 表大雪地域 登山道関係者による情報交換会
出席者

所属	備考
上川中部森林管理署	
上川南部森林管理署	
上川総合振興局	
上川総合振興局	
富良野市	
上川町	
東川町	
上富良野町	
日本山岳会 北海道支部	
旭川山岳会	
上川山岳会	
美瑛山岳会	
上富良野十勝岳山岳会	
旭岳ビジターセンター	
層雲峡ビジターセンター	
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	
大雪山国立公園研究者ネットワーク	
北海道大学大学院	
株式会社りんゆう観光(層雲峡事業所)	
ワカサリゾート株式会社(旭岳ロープウェイ)	
(有)風の便り工房	
山楽舎BEAR	
北海道山岳整備	
大雪山倶楽部	
NPO法人ねおす「大雪山自然学校」	
NPO法人かむい	
大雪と石狩の自然を守る会	
東川エコツーリズム推進協議会	
北海道山岳ガイド協会	
ガイドオフィス風	
北海道地方環境事務所 国立公園・保全整備課	
上川自然保護官事務所	
東川自然保護官事務所	
上士幌自然保護官事務所	

大雪山国立公園 表大雪 登山道関係者による情報交換会
平成26年度 登山道作業(活動)予定

所属	活動予定地	活動予定時期	平成26年度計画
環境省 上川自然保護官事務所 東川自然保護官事務所 上士幌自然保護官事務所	別紙の通り ※資料2		
上川中部森林管理署	黒岳、赤岳、緑岳、ニセイカウシユツベ及び周辺国有林	6月中旬～10月上旬	・黒岳、赤岳、緑岳周辺を重点的に、森林巡視活動及び、普及啓発活動 ・一部歩道の請負により除草作業
上川南部森林管理署	十勝岳、富良野岳、上ホロカメツク山、三段山	5月上旬～10月下旬	・歩道の簡易な補修、 ・登山者への普及啓発活動
上川総合振興局 環境生活課	別紙の通り ※資料3		
上川総合振興局 南部森林室	旭岳	7月～9月	森林巡視活動及び普及啓発活動
富良野市			
上川町			
東川町			
上富良野町			
旭川山岳会	美瑛山岳会のサポート		
上川山岳会	黒岳	6月28日(土)	黒岳登山道の雪割り
美瑛山岳会	別紙の通り ※資料4		
上富良野十勝岳山岳会			
旭岳ビジターセンター			
層雲峡ビジターセンター	11月～5月層雲峡周辺、 6月～10月黒岳、赤岳、緑岳など		公園利用者への啓発活動、自然情報収集、施設内やHP等で情報提供
大雪山国立公園 パークボランティア連絡会	別紙の通り ※資料5		
大雪山国立公園 研究者ネットワーク	別紙の通り ※資料6		
北海道大学大学院	別紙の通り ※資料8		
山のトイレを考える会	別紙の通り		
株式会社りんゆう観光			
ワカサリゾート株式会社			
(有)風の便り工房			
山楽舎BEAR	姿見駅～裾合平登山道	9月7日(日)	登山道荒廃箇所の巡検、 荒廃箇所の整備(木柵工、道水工などを想定)
北海道山岳整備		6月下旬～10月初旬まで	・近自然工法による登山道整備 ・近自然工法の啓蒙活動
大雪山倶楽部			登山道パトロール
NPO法人ねおす 「大雪山自然学校」	姿見園地	5月20日～11月18日	登山道や案内看板など、施設の維持管理・軽微な補修、清掃活動 ・高山植物等の盗掘防止・山火事防止パトロール、利用者指導、利用マナー普及、利用者への情報提供、解説、自然公園関係機関との連携、監視解説員の育成、旭岳協力金の呼びかけ、長靴の貸出し
NPO法人かむい	大雪山周辺	6月～10月	・エコツアー等の企画・運営等
大雪と石狩の自然を守る会			
東川エコツーリズム 推進協議会			
北海道山岳ガイド協会 池永 甞次	大雪山一帯	全期	一般登山者ガイド、自然観察会ガイド、子供自然観察会ガイド、スキーガイド、学校スキー教室講師
ガイドオフィス 風	大雪山全域	6月～10月	山岳ガイドツアー、エコツアー、フラワーウォッチング

北海道地方環境事務所 平成 26 年度大雪山国立公園関連事業

北海道地方環境事務所

①グリーンワーカー事業

- ・ 清掃活動事業（上川、東川、上士幌各管内）
層雲峡、勇駒別、糠平、十勝三股の集団施設地区、利用拠点の美化清掃事業
- ・ 高山蝶重点パトロール
残雪期の山中泊を含む高山蝶パトロール事業
- ・ 登山道維持業務（東川、上士幌各管内）
美瑛富士登山道における協働型作業の支援、姿見～当麻乗越・間宮岳分岐～中岳分岐・原始ヶ原（滝コース）・ユニ石狩岳登山道（十勝側）の補修事業やササ刈り・倒木処理事業
- ・ 登山道利用状況調査（上川、東川、上士幌各管内）
登山者カウンター設置による入山利用者の把握事業
- ・ 高原温泉自動車利用適正化対策業務（上川管内）
マイカー規制の適正化のための利用実態調査事業
- ・ スノーモビル対策事業（上川、東川、上士幌各管内）
大雪山系全体の飛行監視、乗り入れ頻度の高い箇所での地上パトロール

②自然ふれあい事業

- ・ パークボランティア活動事業：パークボランティア運営協議会での報告による
- ・ 80 周年記念事業：大雪山国立公園連絡協議会事業計画による
- ・ 外国人来訪者受入れ事業
 1. ビジターセンターへの外国語対応スタッフの配置（上川、上士幌各管内）
層雲峡ビジターセンター、ひがし大雪自然館に外国語対応スタッフを配置し、案内業務、館内展示解説、利用者意向の聞き取りなどを行う。
 2. 外国人利用者受入環境整備方策検討調査（上川管内）
層雲峡集団施設地区を対象として、外国人に提供可能なサービスの把握と、外国人来訪者の意向確認を行い、サービスのマッチングを図るための調査を実施する。
- ・ 国立公園を核とした情報発信モデル事業（上川管内）
高原温泉地区、層雲峡地区等における自然景観資源、人的・社会的自然に関する調査及びエコツアーのモデルコースの設定
- ・ こどもパークレンジャー
 1. 上士幌管内
しかおいジオパークと連携した持続可能な自然・歴史観察会の実施
 2. 上川管内

上記国立公園を角とした情報発信モデル事業と連携した小中学生向け企画の実施

③野生生物の保護管理事業

- ・ 外来種対策事業（上川、東川、上士幌各管内）
セイヨウオオマルハナバチ防除事業（パークボランティア活動と連携）
然別湖ウチダザリガニ防除事業
- ・ 国指定鳥獣保護区管理（上川、東川各管内）
高原温泉ヒグマ情報センター、白金野鳥の森休憩舎等の管理
高原温泉地区を中心とした表大雪のヒグマ保護管理方針の検討

④主な施設整備・維持管理事業

【山岳部】

- ・ 登山道管理水準・技術指針の再検討（上川、東川、上士幌各管内）
登山道の管理レベルの見直し、管理レベルに応じた補修方法、管理方法を定めた技術指針の再検討（参考別紙）
→平成 25 年度に 2 回の検討会、2 回の作業部会を実施し、登山道管理水準の素案を作成
→山岳関係者による情報交換会を通じて、各登山道の管理に関わる関係者との意見交換を進めるとともに、指導標・ガイドブックへ反映させ一般登山者への普及に努める。
- ・ 中岳温泉～中岳分岐、沼ノ原の登山道整備
- ・ 沼ノ平～姿見の池、トムラウシ登山道の巡視及び修繕

【山麓部】

- ・ 層雲峡集団施設地区整備方針検討（上川管内）
- ・ 層雲峡ビジターセンター多言語情報提供システム導入（上川管内）
- ・ 勇駒別博物展示施設基本設計（東川管内）
- ・ 既存施設活用等設計業務：十勝三股（上士幌管内）

平成26年度高山植物保護対策事業(盗掘防止キャンペーン活動)実施計画

実施日	時間	総合振興局	地区名	実施場所	参加機関(予定)	人数(予定)	集合場所
7月12日(土)	8:00 ~ 15:30	上川	表大雪(国立)	銀泉台、赤岳 ~小泉岳	環境省上川自然保護官事務所、 上川中部森林管理署、上川町、 上川山岳会、上川総合振興局 (環境生活課、自然保護監視員)	10	銀泉台
8月2日(土)	8:00 ~ 16:00	上川	表大雪(国立)	旭岳姿見駅、 旭岳~間宮岳 ~裾合平	環境省東川自然保護官事務所、 東川町、東川山岳会、上川総合 振興局(南部森林室、環境生活 課、自然保護監視員)	10	旭岳ロープウエー

【キャンペーン活動】

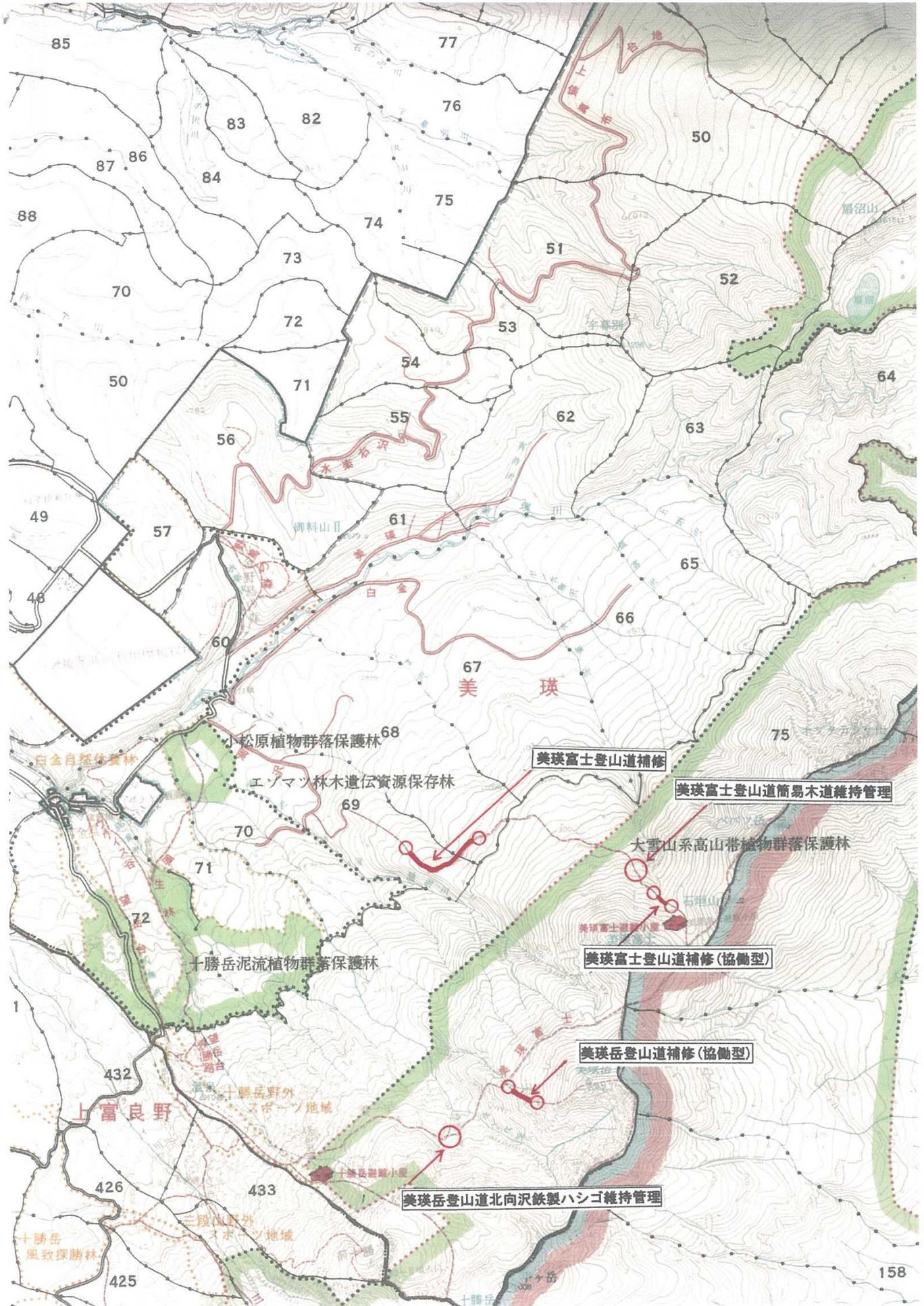
- ・登山口やフェリーターミナルなどにおいて、パンフレットを配布等により高山植物保護の呼びかけを実施する。

平成26年度高山植物保護対策事業(監視活動)実施計画

実施日	時間	総合振興局	地区名	実施場所	参加機関(予定)	人数(予定)	集合場所
6月28日(土)	8:00 ~ 15:30	上川	十勝連峰(国立)	富良野岳~三 峰山~上富良 野岳	環境省東川自然保護官事務所、 上川南部森林管理署、上富良野 町、上富良野山岳会、上川総合 振興局(環境生活課、自然保護 監視員)	10	十勝岳温泉 (凌雲閣横駐車場)
7月19日(土)	8:00 ~ 15:30	上川	天塩岳(道立)	天塩岳~前天 塩岳	上川北部森林管理署、土別市、 朝日山岳会、上川総合振興局 (環境生活課、自然保護監視員)	10	天塩岳登山口

【監視活動】

- ・登山口や登山道沿いに「盗掘防止パトロール中」ののぼりを掲げ盗掘抑止を図るとともに、自然保護官事務所や警察署、森林管理署、地方自治体などと合同で巡視する。





日程	場所	行事	内容等
4月15日(火)	東川RH	○4月役員会	18時～
5/10(土)～ 11(日)	十勝岳 温泉	○5月役員会 ○連絡会総会(十勝岳温泉凌雲閣)	1日目:総会 2日目:春山研修
5月16日(金)	上川町	○運営協議会総会	
5月20日(火)	然別湖	●然別自然休養林登山道整備	登山道ササ刈り
5月21日(水)	士幌町	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6月3日(火)	東川RH	○6月役員会	18時～
6月11日(水)	層雲峡温泉	●外来種防除活動(ルピナス等)	防除活動
6月14日(土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ補強、清掃
6月15日(日)	旭岳山頂～ 間宮岳	●登山道整備	ロープ補強、清掃
6月16日(月)	扇ヶ原周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6月20日(金)	糠平・三股		
6月27日(金)	赤岳	●高山蝶パトロール週間(週2回程度)	密猟防止パトロール
6月30日(月)		※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリングも含む	
6月29日(日)	緑岳・赤岳 ・富良野岳	●高山蝶重点パトロール	現地重点パトロール
7月1日(火)	東川RH	○7月役員会	18時～
7/4(金)～6 (日)	ヒサゴ沼	●登山道整備	ロープ補強、清掃
7/5(土)～6 (日)	ヒサゴ沼	●登山道整備	ロープ補強、清掃
7月中旬	然別湖	●ウチダザリガニ防除	ザリガニ防除
7月23日(水)	愛山溪	●登山道整備 ※滝コースから永山岳の間	登山道ササ刈り
7月27日(日)	旭岳裾合	●登山道整備	ロープ補強、清掃
8月2日(土)	愛山溪	●登山道整備 ※沼の平半月湖周辺	ロープ柵張り
8月3日(日)	大雪山全域	●自然公園クリーンデー 層雲峡温泉・旭岳温泉・白金温泉・天人峡温泉・ぬかびら温泉	清掃活動
8月5日(火)	東川RH	○8月役員会	18時～
8月中～下旬 (4回程度)	旭岳周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動週間	防除活動
8月19日(火)	層雲峡	●外来種防除活動(ルピナス等)	18時～
8月21日(木)	銀泉台入口～	●外来種防除活動(オオハンゴンソウ、フランスギク、セイヨウオオマルハナバチ等)	防除活動
8月28日(木)	コマクサ平		
8月26日(火)	沼ノ平	●湿原植生再生	種子採取など
9月2日(火)	東川RH	○9月役員会	18時～
9月6(土) ～7日(日)	ヒサゴ沼 忠別避難小屋	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
9月11日(木)	沼ノ平	●湿原植生再生	播種
9月中～下旬	高原温泉沼 巡りコース、 赤岳銀泉台	●マイカー規制対応 ※土日祝日+平日2日程/週	自然解説活動、 受付補助
9月27日(土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
9月28日(日)	旭岳山頂 旭岳裾合	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
10月7日(火)	東川RH	○10月役員会	18時～
10月8日(水)	層雲峡	樹木種子採取	種子採取
10月中旬	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動
1月中旬	旭川市内	○1月役員会および新年会	
2月中旬	場所別途	○冬期研修会	
2月下旬(2回 程度)	愛山溪他	●スノーモビル等乗入れ規制合同パトロール、重点パトロール	
年間		●事務所行事への協力(観覧会・フォーラムなど) ●層雲峡VCにおける来館者への自然解説等	

登山道調査計画(案)

北海道大学大学院地球環境科学研究院・環境科学院（大雪山国立公園研究者ネットワーク）

【調査時期】

7月中旬～9月中旬（ただし晴天・弱風時に限る）

【目的】

どのような地形条件で登山道侵食が発生し、進行するのかを明らかにする。

【調査エリア】

黒岳石室、北海平～白雲岳、駒草平、第1花園、第2花園、ヒサゴ沼、富良野岳、当麻岳を予定。

【調査手法】

高山帯（概ね標高 1200m 以上）：人員 2人以上が望ましい

(1) UAV の飛行および空中撮影

1カ所につき最大飛行時間は14分。最大数百メートル四方のエリアを撮影。数百枚

(2) 地上基準点計測

トータルステーションまたはレーザー測距器を用い、画像解析用の地上基準点の位置を計測する。1カ所につき3-4点ほど。撮影範囲にもよるが、登山道の外側も地上基準点設置対象となる。

※今後、侵食速度を連続して調査するには基準点を残す必要あり（課題）

(3) 記載

礫分布や礫径、土質、登山道侵食の横断面を計測し記載する。

樹林帯（概ね標高 1200m 未満）：人員 1人でも可能

(1) 撮影

デジタルカメラを用いた斜め取り撮影を行う。数十枚

※視界が悪いため、UAV は使用しない

(2) 地上基準点計測

地上基準点として測量用ポールを撮影時に設置する。

登山道内に設置するので、登山道外での調査は発生しない。

(3)記載

礫分布や礫径、土質、登山道侵食の横断面を計測し記載する。

【安全対策および自然への配慮】

まず現場での作業にあたっては、UAV 飛行時は他の登山者に最大限注意を払う。よって、UAV 操作者および監視・案内者の2人体制が望ましい。万が一の接触事故に備え、対人対物保険に加入している（「ラジコン保険」対人対物1億円まで補償）。その他の安全対策としては、UAVのプロペラに専用のプロペラガードを装着し、万が一の接触でも登山者の負傷、UAVの損傷が軽くなるように工夫している。なお、強風時は操作不能に陥る危険性があるので飛行は行わない。また飛行時も常時、風速を観測しながら撮影を行う。

つぎに自然環境への配慮としては、地上基準点設置に際し登山道外での調査も想定されるが、植生には最大限注意を払う。ただし、希少な高山植生が分布する場所や貴重な周氷河地形が見られる場所では調査を控えることもありうる。

その他、登山者からの質問に対しては、その都度真摯に答えるつもりである。

(参考)

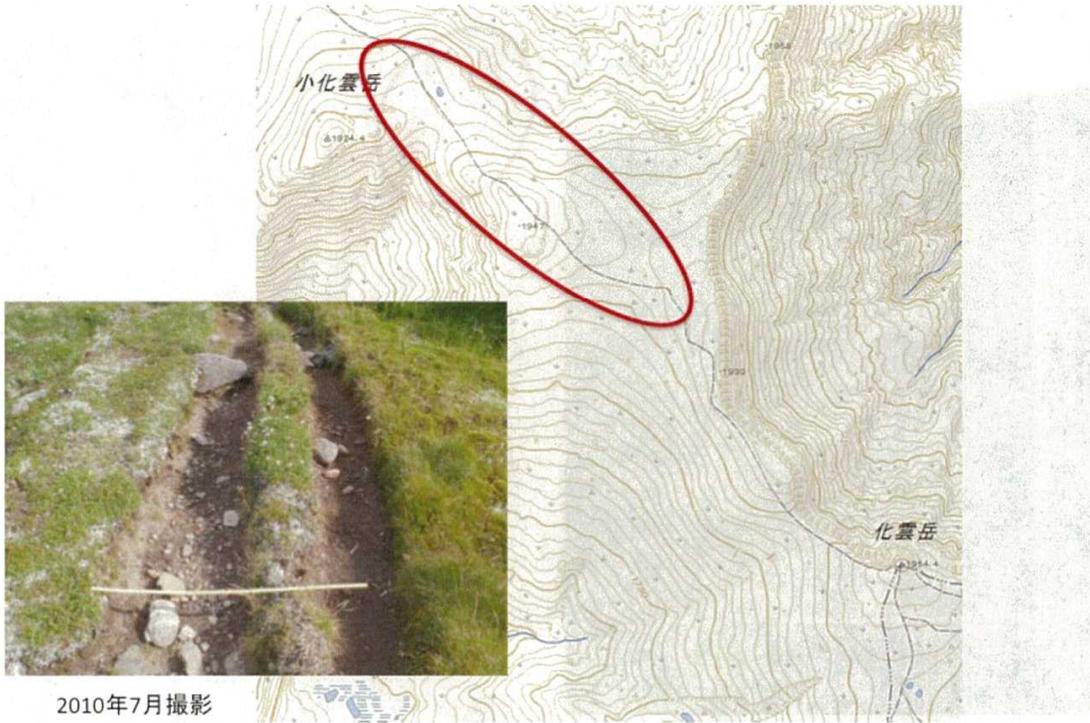
大雪山国立公園以外では、

狩場山（島牧村）、芦別岳（富良野市）、暑寒別岳（雨竜町）、利尻山（利尻富士町）を調査予定。

その他、登山道侵食が酷い箇所があれば是非教えてください。

以上

【大雪山国立公園内の調査予定地】





2010年7月撮影



2010年8月撮影





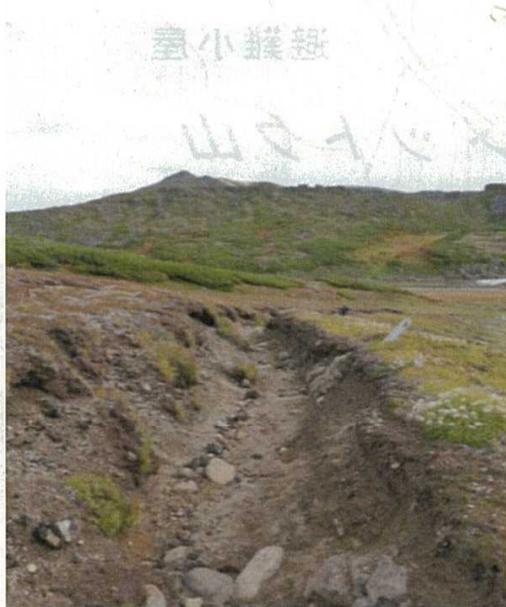
2013年9撮影



2010年9月撮影



2010年8月撮影



2013年9月撮影

